



<http://cms.miyazaki-c.ed.jp/4216/htdocs>

第16回本城小・中学校大運動会

10月15日（土）、あいにくの天候の中でしたが、第16回本城小・中学校大運動会を開催することができました。渡邊 教育委員長職務代理者、土肥 教育長、をはじめ、たくさんの来賓の皆様、地域の方々、保護者の皆様には、朝早くからお越しいただき、激励をいただきました。誠にありがとうございました。

また、保護者や地域の方々には、グラウンド整備のための砂入れなどを協力していただき、ありがとうございました。

結果は、

**競技の部 白団優勝
応援の部 赤団優勝** でした。

PTA玉入れや来賓・高齢者団技、地域の方々とも一緒に踊りたかった新串間音頭など、たくさんの競技を省略させていただいたことに深くお詫び申し上げます。

特に「千野棒踊り」は、本城中学校が本年度で閉校になるということから、OBも卒業生の渡会君を中心に練習を続け披露する予定でした。このことについても、実現できず残念でなりません。

しかし、最後の運動会を一生懸命やり遂げた在校生18人は、本城中70年の歴史に「軌跡」を刻むことができた達成感を感じていました。

計画通りの運動会にはなりませんでしたが、「悔いなき最高の思い出」になったことは間違いないと胸を張ることができました。



健闘光る！ 第11回南那珂地区秋季中学校体育大会 試合結果

第11回南那珂地区中学校秋季体育大会（9月24日（土）～25日（日））に、野球部とバドミントン個人、10月11日（火）に陸上1年200mに本校の生徒たちが参加し、大健闘しました。野球部は、部員が1年生4人となり北方中学校と合同チームを編成し参加しました。1回戦で敗退したものの随所に素晴らしいプレーが飛び出し、観客から大声援をもらいました。

その後、10月1日（土）に行われた全日本春季軟式野球大会串間市予選では、北方・本城中学校合同チームで見事優勝することができました。生徒たちのがんばりに敬意を表したいと思います。

南那珂地区大会結果

9月24日(土)

部活動名	試合結果		競技名	試合結果	
軟式野球	惜敗	対 油津中	0:3 バドミントン個人 田中 乃衣さん 県大会出場	2位	対 市木中 2:0 対 南郷中 2:0 対 日南学園中 0:2

陸上競技の部(10月11日(火))

○1年男子 200m 吉田 大斗君 (2位) 26"92

県大会出場

宮崎県大会日程

バドミントン競技

日時：11月5日(土)～6日(日)
場所：高鍋町総合体育館

試合：11月6日(日) 9:30～
対戦：大宮中

陸上競技

日時：11月5日(土)～6日(日)
場所：KIRISHIMAハイビスカス陸上競技場

競技：11月6日(日) 11:35～ 競技開始

第11回地区中学校総合体育大会 駅伝競走

参加生徒

瀬戸内 棟生君	鍋倉 披勇嘉君	山口 尚大君	山口 蒼太君	渡辺 奎人君
荒山 賀斗君	牧野 海斗君	森 秀吉君	横山 拳斗君	
日時：10月24日(月)	開会式 8:15～			
場所：日南総合運動公園陸上競技場	男子スタート 10:40～			

ぜひ、応援をよろしくお願いします。

オートファジー 〈命をつなぐ細胞内のリサイクル機能〉

ノーベル生理学・医学賞を受賞した 大隅 栄誉 教授の研究「オートファジー」の概要

オートファジーの仕組み

細胞中に膜が現れ、分解対象となる細胞質成分を包み込んで二重膜構造体の「オートファゴソーム」を形成する。その外膜が液胞膜と融合し、内膜構造体「オートファジックボディ」が液胞内へ。液胞内の分解酵素が内膜を破壊し、内容物も分解される。

小さな細胞内で繰り広げられるダイナミックな生命活動

生命活動に必要なタンパク質は、DNAに従って合成されている。分子生物学の基本概念となる「セントラルドグマ」だ。この緻密なプロセスによって、体内では1日におよそ200gのタンパク質が作られる。材料となるアミノ酸は、食べ物から消化・吸収するが、人が摂取しているタンパク質の量は70gほど。足りない分は、一体どこから調達しているのだろうか。

その答えを解くカギのひとつが、今回取り上げる「オートファジー」である。細胞が自らの細胞質成分（合成したタンパク質など）を食べて分解することでアミノ酸を得る機能で、細胞内の「リサイクルシステム」とも言われている。

例えば1日絶食すると、肝臓の体積は約7割に縮小するという。絶食時、肝臓では生命を維持するためにオートファジーが活発に行われているのである。数日間食べなくともすぐに死んでしまうことがないのは、このためだ。

